

**製品名: PDK1 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM80939**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間、ネズミ、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	44kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PDK1
別名	PDK1
遺伝子 ID	5163.0
SwissProt ID	Q15118
免疫原	大腸菌で発現したヒト PDK1 の精製された組み換え断片。

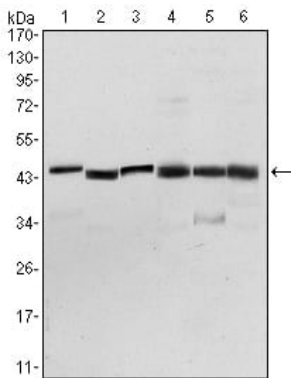
**背景**

ピルビン酸脱水素酵素 (PDH) は、ミトコンドリアに存在する多酵素複合体であり、ピルビン酸の酸化的脱炭酸反応を触媒し、哺乳類における炭水化物燃料の恒常性制御を担う主要酵素の一つです。酵素活性はリン酸化 / 脱リン酸化サイクルによって制御されてい

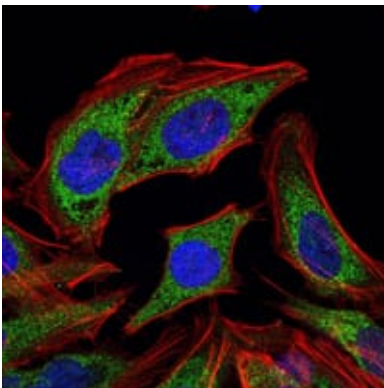
ます。特異的なピルビン酸脱水素酵素キナーゼ (PDK) による PDH のリン酸化は不活性化をもたらします。(RefSeq 提供)。組織特異性: 主に心臓で発現しています。

## 研究分野

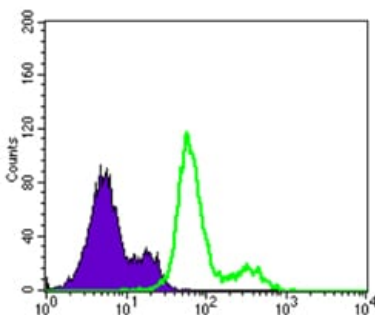
## 画像データ



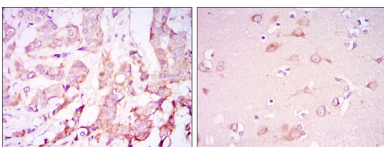
NIH/3T3 (1)、HeLa (2)、Jurkat (3)、HepG2 (4)、PC-12 (5)、および Cos7 (6)細胞溶解物に対する PDK1 マウス mAb を使用したウエスタンブロット解析。



PDK1 マウス mAb (緑) を用いた HELA 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



PDK1 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (紫) を使用した Lovo 細胞のフローサイトメトリー分析。



DAB 染色による PDK1 マウス mAb を使用した、パラフィン包埋ヒト乳がん組織 (左) と脳組織 (右) の免疫組織化学分析。